

—地方創生・人口ビジョンの検証—自治体基盤の人口戦略と実効性の担保

自治体人口政策としての外国人定住促進方策

～「移住政策の競合」から多文化共生による活力創造と人口開発へ向け、増大・多様化する外国人の受入れ—高度人材・留学生、介護・建設・技能実習・農業、そしてインバウンドへの対応～

- 加速化する人口減少下の地方創生—自治体人口政策としての定住外国人の誘致戦略
- 田園回帰・地方移住は地域再生の切り札になるか？—地域をあらためて作るために
- 外国人受け入れ大国・北海道の取組みから地域創生のフロンティア形成方策を探る

【講師陣】

毛受 敏浩 氏 / 公益財団法人日本国際交流センター執行理事
山下 祐介 氏 / 首都大学東京都市教養学部・人文社会系准教授
池田 誠 氏 / 一般財団法人北海道国際交流センター事務局長

開催日時・会場

12月20日(火)
 10:00～16:50
 剛堂会館・会議室
 (東京・千代田区)

【参加要領】

■会 場：剛堂会館・会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 (案内図は申込後送付)

■参加費 (1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一 般	35,000円	34,000円

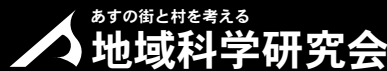
参加費の払い戻しは致しませんので、申込後にご都合が悪く欠席される場合には代理の方の出席をお願い致します。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
 (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方は当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2016年 月 日

■研修会『自治体人口政策としての外国人定住促進方策』への参加 当日参加 ※メディア参加はありません

勤務先

連絡担当者

所在地

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

(通信欄) ○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
 必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名：_____

時	講 義 内 容
<p>10:00 ～ 12:00</p>	<p>地方創生と自治体人口政策 ～多文化共生から定住外国人誘致へ向けて～</p> <p style="text-align: right;">(公財) 日本国際交流センター 毛受 敏浩 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加速化する人口減少と地方創生の実質的「失敗」 2. 多文化共生とは何か？ 3. ヨーロッパの外国人受け入れ(移民)政策の動向 4. 政府の外国人受け入れ・移民政策への対応 5. 自治体による外国人受け入れへの提言と具体的方策 <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>毛受 敏浩(めんじゅ としひろ)氏 プロフィール 慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学行政管理大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究、二国間賢人会議、NGO、フィランソロピー活動など多様な事業に携わる。2003年よりチーフ・プログラム・オフィサー、2012年より現職。慶応大学、静岡文芸大学等で非常勤講師を歴任。 現在、総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、新宿区多文化共生まちづくり会議座長、未来を創る財団理事、日本NPOセンター理事、第一回国際交流・協力実践者全国会議委員長。著書に『自治体がひらく日本の移民政策ー人口減少時代の多文化共生への挑戦』、『人口激減ー移民は日本に必要である』、『異文化体験入門』、『地球市民ネットワーク』など。</p>
<p>13:00 ～ 14:50</p>	<p>人口減少時代の地方創生戦略 ～田園回帰・地方移住は地域再生の切り札になるか?～</p> <p style="text-align: right;">首都大学東京准教授 山下 祐介 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 増田レポートから地方創生へ 2. 過疎問題の生成と展開 3. 「選択と集中」から「多様性の共生」へ 4. 田園回帰・地方移住は再生の切り札になるか？ 5. 地域をあらためて作る ——基本的なことを問い直すところから <p>(※以上の内容でお話いただく予定です。) 【質疑応答】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>山下 祐介氏 プロフィール 1969年生まれ。九州大学助手、弘前大学准教授を経て2011年より現職。過疎高齢化、災害、環境問題などに取り組む。専門は、都市社会学、地域社会学、環境社会学等。著書に、『限界集落の真実 過疎の村は消えるか』(筑摩書房、2012年)、『東北発の震災論周辺から広域システムを考える』(筑摩書房、2013年)、『地方消滅の罫 増田レポートと人口減少社会の正体』(筑摩書房、2014年)ほか。</p>
<p>15:00 ～ 16:50</p>	<p>地域創生・フロンティア ～北海道が今、熱い!～</p> <p style="text-align: right;">(一財) 北海道国際交流センター 池田 誠 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰もが働ける社会づくり ～共働学舎新得農場の取り組み 2. 外国人ボランティアがやってくる ～大沼国際ワークキャンプ 3. 留学生の第2のふるさとに ～HIFのホームステイ 4. 今、北海道が熱い ～外国人受け入れ大国を目指す <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>北海道では、滝川市や東川町、十勝地区、七飯町など多くの自治体で、留学生や日本語学校、農業技術研修員等を積極的に受入れて多文化共生社会化を進めている。また、ニセコ町のスキー・リゾートは1人の外国人がキッカケを作ったことに始まる。その極意とは…。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>池田 誠氏 プロフィール 1961年函館生まれ。大学卒業後、旅行会社JTB に勤務。退社後、ニュージーランドでグリーンツーリズムを学び、2年間、新得町の農場で暮らす。現職の他、外務省NGO相談員、ESD-J 理事、北海道地球温暖化防止活動推進員、大沼マイルストーン22代表、北海道アフリカネットワーク代表等を務める。</p>